

信州しおじり 本の寺子屋

趣旨

「信州しおじり 本の寺子屋」は、塩尻市立図書館が中心となって、生涯読書を推進するために設置するものです。

原型は、地域の人々の生涯学習と出版業界人の研修の場として、1995年に今井書店グループが鳥取県米子市に開設した「本の学校」にあります。

本事業は、その精神を受け継ぐと共に、塩尻市が出版王国と言われる信州に所在し、日本の出版文化に偉大な軌跡を残した筑摩書房の創設者、古田晁の生誕の地であることに鑑み、講演会、講座等のさまざまな事業を通じて、「本」の可能性を考える機会を広く提供するものです。

本は、著者から出版社、書店を経て、読者へと届けられます。一方、図書館は、保存という目的をもって、多種多様な本を収集・提供することで、出版文化の一翼を担っています。

活字離れと言われる昨今の状況に対して、著者、出版社、書店、図書館などが連携して本の魅力を発信し、出版文化の未来に参与するために、図書館を「本の寺子屋」とし、読者も含めてここに集う人々の知恵の交流を促すことで、地方発の文化の創造と発信に挑戦したいと考えております。

皆様のご支援、ご参加をお願いいたします。

テーマ

「本」の可能性を考えたい

「信州しおじり本の寺子屋」は、2012(平成24)年7月29日(日)に開校しました。年間を通して本の魅力を発見し、本の可能性を考えるためのさまざまな講演会や講座、企画展などを開催します。今年度は、次の講演会等を企画していますのでお気軽にご参加ください。

科目	5/26(日)	講演会 松本 健一さん(評論家、麗澤大学経済学部教授) 演題「佐久間 象山、島崎 藤村、丸山 眞男 —または信州と海—」
	May	
6/17(月)	講演会 森 一郎さん(信州大学附属図書館副館長) 講座「著作権法からみた図書館サービス」	
	June	
7/28(日)	短歌絶叫コンサート 福島 泰樹さん(歌人) 演題「美しく死んでいくために」	
	July	
8/11(日)	講演会 いせ ひでこさん(画家、エッセイスト) 演題「わたしの木、こころの木」	
	26(月)	講演会 齋藤 誠一さん(千葉経済大学 短期大学部 准教授) 演題「地域活性化に向けた図書館サービスの手法 —サービスを見せていく図書館員の役割について—」
August		
	9/29(日)	対談 常世田 良さん(立命館大学文学部教授) 柴野 京子さん(上智大学文学部助教) 演題「「本」の可能性を考えたい」
September		
	10/27(日)	講演会 古田晁記念館文学サロン 熊沢 敏之さん(柳屋書房代表取締役社長) 演題「古田晁の精神」
28(月)	講演会 広瀬 恒子さん(親子読書地域文庫全国連絡会代表) 演題「子どもと本を結ぶ架け橋として —図書館員にできること—」	
	October	
11/10(日)	講演会 柳田 邦男さん(ノンフィクション作家) 演題「生きることと言葉の力」	
	November	

11/25(月)	講演会 竹内 利明さん(電気通信大学 特任教授) 演題「市民と図書館の協働による地域(経済)活性化 —公共図書館のビジネス支援サービスを中心として—」
	November
12/1(日)	講座 データベース活用講座 第一法規法情報総合データベース、ジャパンナレッジ
	December
1/27(月)	講座 本の修理講習会
	January
2/23(日)	講演会 池内 紀さん(ドイツ学者、エッセイスト) 演題「本が友だち」
	February
3/9(日)	講演会 杉山 亮さん(児童文学作家) 演題「こどもと物語のいい関係」 ものがたりライブ
	March
7/23(火)~8/25(日)	いせ ひでこ原画展 協力:絵本美術館 森のおうち 「ルリユールおじさん」
	7/23(火)~8/25(日)
11/4(月)	書評合戦ビブリオバトル 「もっとも読みたいと思われた本はどれだ!」
	11/26(火)~12/28(土)
1/4(土)~1/26(日)	和本企画展 「ちりめん本の世界 —海外で読まれた日本の昔ばなし—」

※各事業の詳細は、個別に発表します。詳しくは、塩尻市立図書館までお問い合わせください。

2012年度の講師から

「信州しおじり本」の寺子屋」に寄せて



色川 大吉

Daikichi Irokawa

(歴史家、東京経済大学名誉教授)

本の寺子屋に集まってこられた人たちの本好き、愛書家なのは驚きました。松本の方からこられた読者もいました。わたしは自費出版された本について話したのですが、読む行為と書く行為が一体になることが望ましいのですが、最初は自分のことから書く。それも自慢史ではなく、社会性を持つ自分の失敗談や忘れ難い経験を書けば、他人からも喜ばれる。そういう書く経験をした人は良き読者になるのではないのでしょうか。



山中 桃子

Memoko Yamanaka

(イラストレーター、絵本画家)

市民の憩いの場、交流の場であり、知や創造の発信地、街の中心といえるえんぱーく。

大人も子ども、一冊の本を手にとった瞬間に、世界が広がる。

本の寺子屋は、本のもつ無限の可能性について考えるきっかけになると思う。

本の寺子屋に出会い、たくさんの方の心が豊かになることを願っています。



根本 彰

Akira Nemoto

(東京大学大学院教育研究科教授)

知を共有する新しい仕掛け

日本が他のアジア諸国に先駆けて近代化できた要因の一つに、江戸時代のリテラシーの高さがあります。寺子屋で読み書き能力を身につければ、新しい知を獲得し共有し発信できました。塩尻市の本の寺子屋は、現代に見合った新しい構想のもとにこの仕掛けを行おうという興味深い試みです。

- 主催 塩尻市・塩尻市教育委員会
- 企画 長田 洋一 (編集者・元河出書房新社「文藝」編集長)
- 顧問 辻井 喬・永井 伸和・熊沢 敏之・常世田 良
- 後援 塩尻書店組合・長野県出版協会
長野県図書館協会・信州大学・松本大学
朝日新聞松本支局・信濃毎日新聞社・市民タイムス
中日新聞社・長野日報社・毎日新聞松本支局
松本平タウン情報・読売新聞長野支局
エルシーブイ(株)・テレビ松本ケーブルビジョン
abn長野朝日放送・NBS長野放送
NHK長野放送局・SBC信越放送・TSBテレビ信州
(株)郷土出版社・日本ハイコム(株)

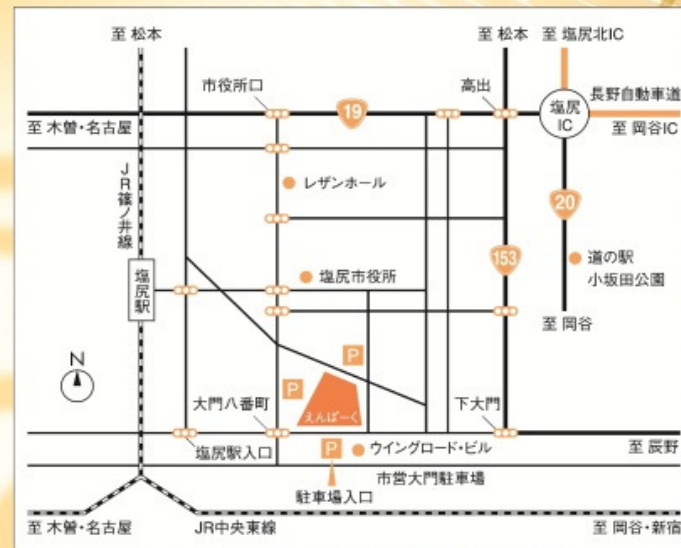
※後援、協賛いただける団体、企業等を募集しています。

連絡先

塩尻市立図書館 〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 えんぱーく内
TEL 0263-53-3365 FAX 0263-53-3362
E-mail: tosho@po.city.shiojiri.nagano.jp

交通案内

- 電車：JR 塩尻駅下車。東口(正面口)から徒歩 約8分。
- 車：長野自動車道 塩尻ICから約8分。
駐車場は、市民交流センター平面駐車場及び連絡通路でつながった「市営大門駐車場」をご利用ください。



信州しおじり

本の寺子屋

2013年度
塩尻市立図書館